



# 栗原小だより

～学校教育目標～  
よく考え学ぶ子  
心のゆたかな子  
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <https://e-kurihara-c-niiza.edumap.jp/>



令和7年度3月末号  
令和8年3月26日

## 桜から始まった令和7年度…

校長 古澤 健史

### 【桜とチューリップにも見送られ】

3月24日(火)、あたたかい日差しの中、満開のチューリップと咲き始めた桜にも見送られ、在校生と卒業生のお別れの式と令和7年度の卒業証書授与式が挙行され、64名の6年生が栗原小学校を巣立っていきました。

下級生に優しく、下級生たちに尊敬される栗原小学校の伝統を体現したような6年生でした。毎日の登校では、下級生を気にかけて、頻りに後ろを振り返りながら歩くスピードを調整している姿や学校生活の中で、優しく一緒に遊んでくれたり、縦割り活動で引っ張ってくれたりする姿が印象的でした。そんな6年生のスタートは、近年では遅咲きとなった満開の桜とチューリップと一緒にでした。

思い返すと今年の卒業生は、6年前の入学式が、新型コロナウイルスの蔓延のため、学校が臨時休校となり、入学式が約2カ月遅れの6月に実施となった学年です。彼らの入学式は、葉桜すらとっくに過ぎてしまった時期でした。そのときの分の桜が、今回多く巡ってきたのかもしれませんが。

### 【なぜ上級生は尊敬されるのか】

卒業式に先立ち、2月26日には体育館で「6年生を送る会」が、実施されました。1年生から5年生まで、6年生への感謝の気持ちを込めた出し物に、参加した全員の心が温くなるそんな会になりました。

その中でも光ったのは、やはり6年生でした。6年生からのお返しの出し物は、来年の栗原小を下級生に任せられるか、6年生と勝負をして確かめようというものでした。さすが6年生としての力を見せつつも、自分たちが不利になる特別ルールで最後は、下級生が勝つか引き分けるという演出がされていました。「栗原小の上級生は、体が大きかったり強かったりして威張っているから尊敬されるのではない。下級生に優しいから尊敬されるのだ。」ということを自らの

姿で示していました。

### 【下級生が見ていないところでも】

また、3月11日には、6年生が学校への感謝の気持ちを込めて、奉仕作業を行いました。校舎の思い思いの場所をきれいに清掃したり、西門フェンス沿い花の種を植えたり、校庭の側溝に溜まった落ち葉や砂をとったり、弁天池の水を抜き底に溜まった泥も取りました。校内環境をきれいにしてくれました。学校応援団の保護者の方々も6年生と一緒に作業を行っていただきました。ありがとうございました。

### 【しっかりと引き継がれる思い】

卒業式では、6年生は晴れやかな清々しい表情で、担任の呼名に「はい」と返事をし、自分の夢や目標を発表しました。どの子も胸を張り背筋をピンと伸ばし、全員が卒業証書を受け取りました。やはり6年生は、最後までかっこよく優しい6年生でした。

在校生代表として参列した5年生の態度も素晴らしかったです。式の後半に送辞と歌を6年生に届けました。本当に気持ちのこもった言葉と歌、態度でした。

そして、前日の会場の準備や当日の卒業写真のために準備も5年生が担いました。

私には、卒業式の予行で参加する5年生と6年生だけに話があります。そこで6年生には、5年生のときに来年度6年生として何をしてほしいか託したこと、それを成し遂げたことへのお礼を伝えます。5年生は、昨年6年生が校長から何を話され頼まれていたかを知り、自分たちにも思いが伝えられます。今年の5年生も真剣に話を聞いてくれました。卒業式での姿を見ると、来年度へも思いは引き継がれたと確信しています。

卒業生はもとより、在校生、保護者、教職員の思いが伝わり合う、心温まる素晴らしい卒業証書授与式でした。

それは同時に新しい栗小のスタートです。